

報道関係者各位

— 川崎市市民ミュージアム 教育普及事業のご案内 —

マンガ、歴史、絵画、彫刻…多彩なテーマで気軽に参加できる  
**当館学芸員が講師！川崎市市民ミュージアム講座**

川崎市市民ミュージアムでは、ミュージアムをより身近に感じていただけるよう、学芸員が当館の研究分野や専門領域についてわかりやすくご紹介する「川崎市市民ミュージアム講座」を毎年開催しています。2019年2月・3月には、多彩なテーマの4つの講座を開講します。

- ◆ 2/3 (日) 新美琢真 「さわって、読んで、学ぶ 近代日本マンガの歴史」
- ◆ 2/24 (日) 小葉一夫 「川崎の縄文 ～かわさきの歴史のはじまり～」
- ◆ 3/10 (日) 誉田あゆみ 「アール・ヌーヴォー ～ミュシャと日本の近代デザイン～」
- ◆ 3/17 (日) 当館館長・大野正勝 「彫刻家・舟越保武 ～まなざしの向こうに～」

美術館・博物館の複合文化施設として、多彩な収蔵品と専門学芸員を有する川崎市市民ミュージアムならではのユニークな切り口で、一人ひとりの興味に合わせて1講座からご参加いただけます。学芸員の研究成果、歴史と文化を次世代に伝える博物館・美術館としての市民ミュージアムの活動内容をご理解いただく機会として、広く参加を募ります。

【開催概要】

時間／各日 14:00～15:30

場所／川崎市市民ミュージアム 3F 研修室2

料金／参加無料

定員／各回 30名 ※申込受付中！当館HPのイベントページまたはFAXにてお申し込みください。

HP <http://www.kawasaki-museum.jp/event/14862/>

FAX 044-754-4533 (講座名・参加日時・名前・フリガナ・住所・電話番号・E-mailアドレス・参加人数を明記)

各講座について

- ◆ 2/3 (日) 新美琢真 「さわって、読んで、学ぶ 近代日本マンガの歴史」



近代的な日本のマンガの歴史は明治に始まります。それは戦争、災害、流行などの時代的な要因、規制による圧力などの政治的な要因や印刷・製本など技術的な要因……様々な事柄が絡み合って形作られ、発展してきました。

本講座では、学芸員が所有している近代マンガ資料のコレクションを直接さわって、読み込んでもらうことにより、本を読むだけでは感じ取れない近代マンガの歴史を体験し、その魅力を知っていただければと考えています。

『滑稽新聞 第六十号』(滑稽新聞社) 明治39(1906)年1月1日発行、個人蔵

◆ 2/24 (日) 小薬一夫 「川崎の縄文 ～かわさきの歴史のはじまり～」



川崎には数多くの縄文時代の痕跡があります。しかし、そのほとんどは現在、宅地などの開発によってすでに失われてしまっています。

本講座では、改めて5000年前の縄文の遺跡を掘り起こし、川崎の歴史のはじまりを紐解いていきたいと思えます。

麻生区 谷ツ遺跡出土の縄文土器 当館蔵

◆ 3/10 (日) 誉田あゆみ

「アール・ヌーヴォー ～ミュシャと日本の近代デザイン～」



19世紀末から20世紀初頭にかけて西洋美術の流れに一石を投じたアール・ヌーヴォー様式。同時代の日本の芸術家によって積極的に持ち帰られ、作風や表現に大きな影響を及ぼしました。

本講座では、当館所蔵のアルフォンス・ミュシャをはじめとするアール・ヌーヴォーのポスターを中心に、当時のグラフィックデザインの特徴や、そこから影響を受けたと考えられる日本近代デザイン的一端をご紹介します。

アルフォンス・ミュシャ《第20回サロン・デ・サン展》1896年、リトグラフ 当館蔵(三浦コレクション)

◆ 3/17 (日) 当館館長・大野正勝 「彫刻家・舟越保武 ～まなざしの向こうに～」



静謐な佇まいを見せる数々の女性像。どこか遠いところに向けられたその眼差しの先にあるものはなにか。

石彫による具象彫刻の第一人者・舟越保武(1912-2002)がその生涯をかけて求め続けてきたものを皆さんとともに考えてみたいと思えます。

舟越保武《T嬢》1974年、大理石 岩手県立美術館蔵

<川崎市市民ミュージアム 施設概要>



多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて1988年11月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。

■住所：〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2 (等々力緑地内)

■開館時間：9:30～17:00 (入場は閉館の30分前まで)

■休館日：月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土日の場合は開館)、年末年始

■観覧料：企画展、アートギャラリーは展覧会により異なる。博物館展示室は無料。

※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は、観覧無料。

※20名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス：JR・東急「武蔵小杉」駅北口1番乗り場からバスで約10分 「市民ミュージアム前」下車すぐ

【プレスリリースのお問い合わせ】 川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 坂下

TEL：044-754-4500 (休館日を除く9:30～17:00) FAX：044-754-4533

MAIL：pr\_kcm@kawasaki-museum.com

HP：http://www.kawasaki-museum.jp/

\*指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体